

# 結いの心

地域みんなで結ぶ大きな絆

令和6年1月号

木城町自治公民館連絡協議会

自治公民館活性化支援員 大津 新

## 新年のごあいさつ

新年を迎え、皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃から自治公民館活動にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

令和6年（2024年）早々、石川県能登地方を震源とする地震、羽田空港での航空機事故のニュースが伝えられました。被災されお亡くなりになった方々のご冥福をお祈りすると共に、ご遺族の方々にお悔やみ申し上げ、一日も早く平穏な日々が戻ってくることを願っております。

さて昨年は、町制施行50周年、木城小・中学校が義務教育学校「みどりの杜 木城学園」として開校、新型コロナウイルス感染症の感染法上5類への移行など「変化の年」となりました。様々な行動制限や自粛の状況から「After コロナ」「With コロナ」となり、日常生活・社会活動などで改善・工夫が求められる「転換の年」ともなりました。今年は、これまでの取組をより一層力を合わせ発展させていく「充実の年」となっております。

このようなことから自治公民館連絡協議会では、木城町教育委員会が進める「自治公民館の活性化に向けた応援支援事業」と連携し、「防災・減災」「共生・協働」をキーワードに、お互いに顔が見え、共に助け合える「安心・安全な地域づくり」に向けた取組を進めてまいります。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

令和6年1月 木城町自治公民館連絡協議会 会長 杉田 博



## 新年の恒例行事・春への準備等

各地区での新年の恒例行事、春を迎える準備を取材させていただきました。コロナ禍、寒さが厳しい中でしたが、地区の状況に応じた様々な活動が展開されていまして

### ☆1月1日（月）四方拝

湯屋ヶ坂自治公民館では、地域の一年の安寧を願って、「四方拝」が行われました。日の出前に公民館に集合し、日の出を待ちました。日の出時刻に合わせて、東→北→西→南の順に祈りが捧げられました。「四方拝」の後、新年のあいさつが改めて交わされ、正月祝いの宴が行われました。



## ☆1月14日(日) もぐら打ち

「もぐら打ち」は、農作物を荒らすもぐらを撃退する取組を子供達みんなで行うことで地域の安寧、無病息災、五穀豊穡を願う地域への貢献活動です。中椎木自治公民館で、4年ぶりに実施されました。ほとんどの子供達が初めての体験となり、そのため初めに公民館で「もぐら打ち」の由来、目的や掛け声などの確認が行われました。さらに、公民館の広場で動きや掛け声の練習が行われました。



その後、グループに分かれ区内を回りました。初め子供達は、恥ずかしがって小さかった掛け声でしたが、活動が進むにつれてだんだん声や動きも大きくなり、あいさつやお礼の言葉など積極的に活動できるようになっていきました。また、もぐら打ちを行った家庭から、感謝の言葉とお礼のお菓子や心付けをいただきました。このような活動は、地域に顔が見える環境を整備するとともに、子供達の地域への思いや自己存在感を高めること、「子供達は地域の宝」ということを地域全体で再確認することにつながる大切な伝統活動であると感じました。



## ☆1月14日(日) 畦焼き・野焼き

各地区で、病害虫の駆除や枯草の処理等を目的とした「春の風物詩」である畦焼き・野焼きが行われました。近隣の地区とも連携し、地区住民・消防団の方々が協力しながら地区全体で行ってられました。



下鶴



田神



岩戸・新岩戸

これらの他にも、各地区で新年、春を迎えるさまざまな活動が行われています。